



TITLE:

卒業生からの言葉

AUTHOR(S):

藤原, 健治; 徳田, 竜一; 山本, 大輔; 峯村, 英児; 中野屋, 壮吾; 谷口, 繁紀

CITATION:

藤原, 健治 ...[et al]. 卒業生からの言葉. 岩本ゼミナール機関誌 1998, 2: 187-189

ISSUE DATE:

1998-03-23

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/56835>

RIGHT:

卒業生からの言葉

岩本ゼミのみなさんへ

東京三菱銀行

二期生 藤原 健治

機関誌の発行おめでとうございます。私たちの時に始めて発行されたものが、引き続き発行されるということに「驚き」と後輩の成果を見ることができる「喜び」を感じています。さて、私の近況というと地殻変動を起こしている金融界を楽しんでいます。昨年は銀行、証券と軒並み倒れるという状況が続きました。今年も、4月の新外為法の実施、外資系金融機関の本格参入、異業種による金融業への参加等、話題の豊富な一年となるでしょう。

今になって、ゼミで学んだことやディベートでの経験が役に立っていると感じる瞬間があります。それは知識というよりも、問題点の発見等の思考能力だと思います。これを自由な時間がある間に、いろんな人から盗んでほしいと思います。岩本ゼミには先生をはじめ、盗むべき点を多く持った人がたくさんいます。また、このような癖のある人が多くいるゼミを続けていって下さいね。

ゼミ機関誌に寄せて

日本オラクル株式会社

二期生 徳田 竜一

京都大学を卒業して一年、ようやく職場にも慣れ、目まぐるしい毎日を送っています。今回のゼミ機関誌への寄稿を機会に、学生時代を振り返ってみたいと思います。また、2期生としてすでに社会にでた我々が、学生時代についてどう考えているのかは学生のみなさんにも興味のあるところだと思い、岩本ゼミで得たものについて考えてみたいと思います。

私が岩本ゼミから得たものは、大きく二つあります。一つは、「自分で考え行動する」ということ。岩本先生は、私たちがゼミ以外の活動によって、ゼミの勉強が疎かになっても叱ることなく、学生それぞれの考えを最大限尊重して下さいました。この岩本先生の姿勢から「自分で考え積極的に行動すること」こそ、与えられたものをこなすこと以上に重要なことだと勝手に解釈をしました。現在、コンサルタントとして仕事をする上でいつもその重要性を身に感じています。二つ目は、大変ユニークかつ優秀な先輩、友人、後輩が持てたことです。青竹会のメンバーがそれぞれの分野で自分を磨き、財産としてのネットワークの価値を高めていくことにより、将来ゼミ生達のかけがえのない財産となりうるものであると考えます。これらを考えると私の学生生活は大変満足のいくものでありました。今回ご卒業の3期生も有意義な学生生活を送られたことでしょう。3期生の卒業後の御活躍を期待して機関誌に寄せるメッセージとさせていただきます。

最初に、岩本ゼミから無事に三期生を送り出すことができたことを、心からお祝い申し上げます。また、来年度からは六期生が新たに加わることになっているとのことで、岩本ゼミの確かな発展が感じられ嬉しく思っています。ところで私は、昨年の四月に公正取引委員会という役所に就職して、まもなく一年になろうとしております。さすがに今では、就職した直後とは異なり業務には慣れましたが、しかし、今までと異なる事（方法）をやらうとすると、様々な障害があるのが現実です。その時に障害を越えるのに最低限必要なのが、首尾一貫した主張だと思っています。学生のうちにそれを身につけることはなかなか難しいと思いますが、その基礎となる正確な知識は身につけることはできますし、また、私の場合には、ゼミでは多少は身に付ける事ができたと思っています。むしろ、学生の間に身に付けた知識だけでは不十分ですので、そういう意味で社会人ほど学生時代と同じように勉強する必要があると思っています。そこで、三期生の皆様も、ゼミで身に付けた知識以上の知識を身に付けるべく、これからも勉強を続けられる事をお薦めします。とりとめのない文章になってしまいましたが、岩本ゼミ機関誌第二号への言葉とさせていただきます。あと、最後まで読んでくれた方にはお礼を申し上げます。

一年を振り返って

農林水産省

二期生 峯村 英児

4 回生のみなさんご卒業おめでとうございます。

昨年の今頃は、大きな不安と小さな期待を胸に抱え日々を送っていた気がします。そして一年が過ぎようとしています。まず、入庁してから一番驚いたことは、とにかく官庁というのは、紙社会ということです。ある程度電子化が進みメールの活用が行われているのですが、やはり最後はペーパーで残すことが重要なのです。私は最高で4時間続けてコピーしたことがあります。あと、恐ろしく残業時間が長いことです。確かに仕事の量に比べて人の数が足りていないのは確かだと思いますが、仕事の配分と人の配分のバランスが取れていないというのが大きな原因だと思います。

私は、現在農林水産省林野庁に配属されています。日本の木材は自由貿易の下（関税率が5%程度）、自給率が20%まで下がり、日本の森林・林業・木材産業・山村地域は大変厳しい状況にあり、国産材の需要拡大を図ることは大きな政策課題となっています。岩本ゼミで勉強した国際貿易の世界がまさに目の前で繰り広げられており、岩本ゼミで勉強したことが大いに役立っていると思います。

岩本ゼミで勉強したことは、今後の活動の大きな糧となるはずです。みなさんのご活躍を期待しています。

京都大学大学院工学研究科修士課程
二期生 中野屋 壮吾

卒業おめでとうございます。みなさんは、私より早く会社へはばたいてしますので、もしかしたら将来の上司かもしれません。タメ口きいても左遷したりしないでくださいね。私の上司にならない人も、これから年に一度会えることを楽しみにしています。

ゼミ論集 vol.2 完成おめでとう

住友銀行
二期生 谷口 繁紀

ゼミ論集完成おめでとうございます。この論文集を作り上げるに当たってゼミ生の方々、特に4回生は大変苦勞したのではないかと思います。苦勞といっても、それは岩本ゼミに在籍した三年間の結晶ということでもあり、きっとどこかで自分に関わってくるものではないかと思います。私は銀行という職場で、外為を担当するようになったこともあり、大学で学んだことは、極めて役立っています。大学時代は今しかできない勉強をしようと思って取り組みましたが、どういうわけか、今の仕事にそのまま（無理矢理に？）生かしています。

今の時点で一見無駄と思えることこそ大学時代にしかできないことです。そういう見方でみなさんの執筆した論文を見ると、自分の作品に満足できるのではないかと思います。時に郷愁も感じます。

真面目すぎる話になってしまいましたね。青竹会楽しみにしています。岩本先生、ゼミ生をよろしくお願いします。ゼミ生の皆さん、自分のしたいことをして下さい。（結果として岩本先生を満足させることができたらいいですね。）高橋さん、就職おめでとうございます。柴田さん、ゼミ生をよろしくお願いします。OB は皆で岩本ゼミを応援しています。

PS. I don't know where I'm going, but I know where I've been.